

水平展開に向けた方策（案）

1

これまでの取り組み

- ①プロジェクトモデルの検討
（横浜市、東京都市大、舞岡中科学部との試行）
- ②水平展開に向けた取り組み
 - ・ニーズ把握のアンケート（団体向け、行政向け）
 - ・ガイドブック作成（団体向け、行政向け）



今後の取り組み

- ・ガイドブックを活用した水平展開の方策の検討

2

行政向けアンケート

アンケートの実施概要

(目的) プロジェクトの水平展開に向けた情報収集を目的として、全国の自治体へアンケート調査を実施し、下水道の市民科学のニーズや課題、類似した取り組み等を把握する。

実施日	調査対象
調査票発送日 : H28年7月6日 回答期限 : H28年7月25日	全国の自治体 (110団体)

【アンケート調査の項目】

Q 「下水道の市民科学」のニーズについて

- ・「下水道の市民科学」への関心について
- ・自治体への導入について
- ・関心のある「下水道の市民科学」の調査活動、選んだ理由
- ・導入する上での課題

Q 「市民との連携による下水道に関する調査研究活動」の取り組み実態

- ・下水道に関する調査研究活動の市民連携の有無
- ・実施している調査研究活動の内容、テーマ
- ・連携している市民、市民団体、大学や企業からの助言、協力について

Q 「大学との連携による下水道に関する調査研究活動」の取り組み実態

- ・取り組み実態
- ・実施している調査研究活動のテーマ

3

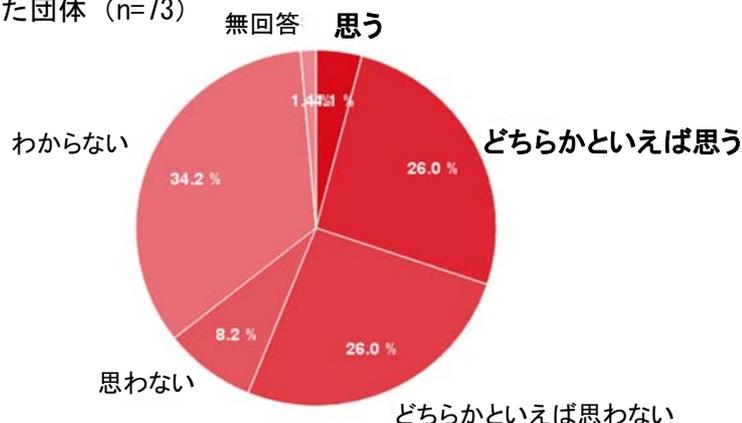
行政向けアンケートの結果

アンケートの回収率 = **62.7%** (69団体/110団体)
回答数は73件、複数部署からの回答あり

Q 「下水道の市民科学」の導入について

今後、貴自治体に下水道の市民科学の取り組みを導入したいと思いますか。

アンケートに回答頂いた団体 (n=73)



・プロジェクトを導入したいと思う、どちらかといえば思うと答えた自治体の割合は約3割。

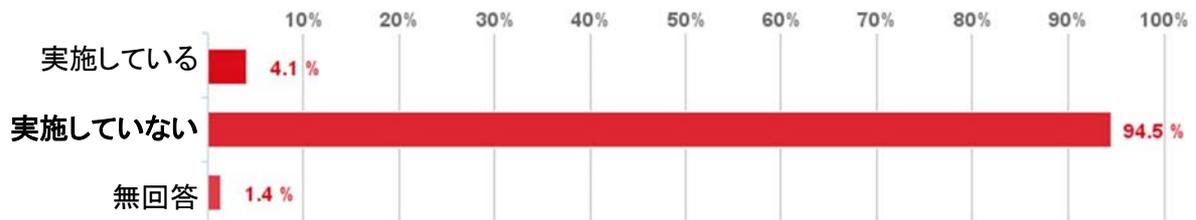
4

行政向けアンケートの結果

Q 「市民との連携による下水道に関する調査研究活動」の取り組み実態

貴自治体では、現在、市民・市民団体との連携による「下水道に関する調査研究活動」を実施していますか。

アンケートに回答頂いた団体 (n=73)



- ・下水道の市民科学の取り組みの類似実績はほとんどない。
- ⇒全国の自治体で実践してもらうためには、効果をイメージできるよう、早期に成功事例を増やす必要がある。(下水道研究発表会での舞岡中の発表を聞いて、関心をもった自治体がいる。)
- ⇒ただし、これまでの取り組みの中にも、市民科学の取り組みはあるが、それが「市民科学」として認識されていない可能性もある。

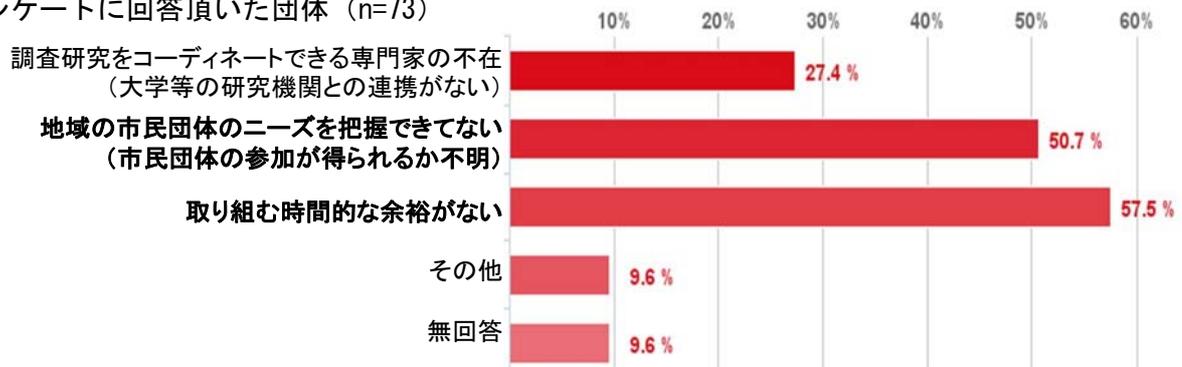
5

行政向けアンケートの結果

Q 「導入する上での課題」

「下水道の市民科学」の活動を導入する上での課題があれば、教えてください。
(複数回答可)

アンケートに回答頂いた団体 (n=73)



- ・導入する上での課題として、「取り組む時間がない」、「川の団体のニーズを把握できていない」ことを課題としてあげる自治体が多い(約5~6割)。
- ⇒早期立ち上げにはサポートが必要。
- ⇒川の団体側からも、アプローチしてもらう必要もある。

6

川の団体向けアンケート

アンケートの実施概要

(目的) プロジェクトの水平展開に向けた情報収集を目的として、全国の川の活動団体へアンケート調査を実施し、下水道の市民科学のニーズや課題を把握する。

実施日	調査対象
調査票発送日 : H27年12月4、5日 回答期限 : H27年12月23日	全国の川の活動団体 (121団体)

【アンケート調査の項目】

Q 「下水道の市民科学」のニーズについて

- ・「下水道の市民科学」への関心について
- ・団体への導入について
- ・関心のある「下水道の市民科学」の調査研究テーマ、選んだ理由
- ・導入する上での条件、課題

Q 「下水道の市民科学」を進める上で、下水道行政に求めること

- ・下水道行政に望むこと
- ・下水処理場を「活動の場」、「情報発信の場」としての開放について

Q 「下水道の市民科学」を進める上での、大学、企業との連携のあり方

- ・大学、企業の連携に望むこと

Q その他

- ・調査研究の活動実績について
- ・連携している団体について
- ・インターネットの利用状況

7

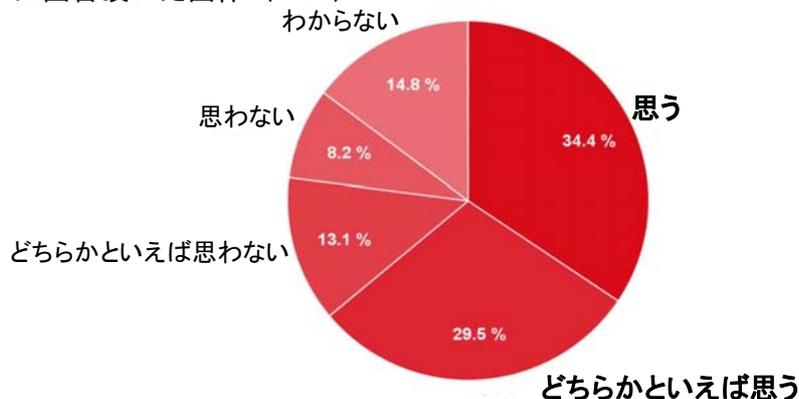
川の団体向けアンケートの結果

アンケートの回収率 = 50.4% (61団体/121団体)

Q 「下水道の市民科学」の導入について

今後、貴団体に下水道の市民科学の取り組みを導入したいと思いますか。

アンケートに回答頂いた団体 (n=61)



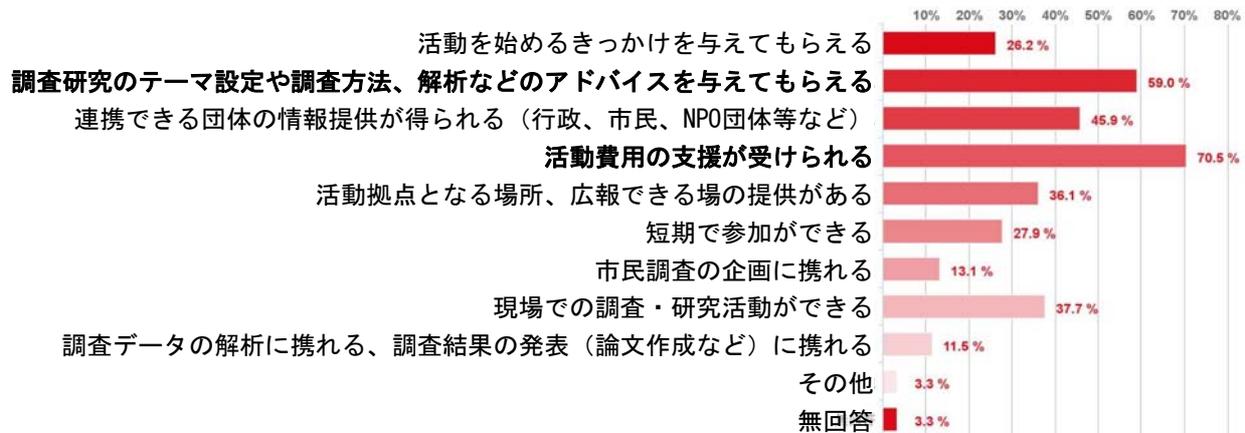
・プロジェクトを導入したいと思う、どちらかといえば思うと答えた団体の割合は約6割。

8

川の団体向けアンケートの結果

Q 「導入する上での条件」

どのような条件なら貴団体の活動に導入したいと思いますか。(最大6つまで回答可)



- ・活動を行う上での条件として、「活動費用の支援が受けられる」ことを条件とする団体が7割(43団体/61団体)を占めた。
 - ・また、「調査研究のテーマ設定や調査方法、解析などのアドバイスを与えてもらえる」ことを条件とする団体多い(6割(36団体/61団体))。
- ⇒資金面でのサポート体制づくりが必要。
⇒早期に成功事例を増やすためには、まずは、調査研究の取り組みに意欲的な団体への声かけからはじめることも必要。

9

<ガイドブックを活用した水平展開ポイント>

- ①早期に成功事例を増やし、成功イメージを自治体と共有する。

(実施案)

- ⇒「下水道の市民科学」の成果発表は、まずは、全国の下水道行政が参加する場(下水道研究発表会)を目指す



- ⇒「下水道の市民科学」を下水道行政にPRし、既往の取り組みの中から「市民科学」の成功事例を抽出し、その効果を共有する

10

<ガイドブックを活用した水平展開ポイント>

②きっかけづくりは、**行政側、団体側の両方からアプローチ**する。

(実施案)

⇒ 成功イメージを共有できている自治体への声かけ

ex H28年度下水道研究発表会において関心を持ってくれた自治体
長崎県諫早市、大阪府

⇒ 導入意向が高い自治体への声かけ

ex H28年度アンケート結果より「下水道の市民科学の取り組みを導入したい」と回答した自治体 (表1)

⇒ 調査研究の取り組みに意欲的な団体への声かけ

ex H27・28年度アンケート結果より「研究テーマの設定等にアドバイスを与えてもらえる」ことを条件としていない団体 (表2)

11

表1 導入意向の高い自治体 (H28年度アンケート結果より) 1/2

自治体名	導入したいか?	関心のある調査						
		川の生き物	水質	流量	生活排水	下水処理水の有効利用	雨水の有効利用	濁水や震災のための調査
北海道・東北								
宮城県気仙沼市	どちらかといえば思う				○			
関東								
埼玉県	どちらかといえば思う					○	○	○
埼玉県嵐山町	どちらかといえば思う		○		○	○		
埼玉県さいたま市	どちらかといえば思う					(下水熱の有効利用)		
東京都	どちらかといえば思う	○						
東京都国立市	どちらかといえば思う	○						○
神奈川県横浜市	思う	○ (川、海の生き物調査)						
神奈川県葉山町	どちらかといえば思う					○		
中部								
新潟県上越市	どちらかといえば思う	○	○		○			
三重県桑名市	どちらかといえば思う							○
関西								
大阪府箕面市	どちらかといえば思う						○	
京都府京都市	どちらかといえば思う				○			
奈良県桜井市	どちらかといえば思う	○	○		○		○	○

12

表1 導入意向の高い自治体（H28年度アンケート結果より） 2/2

自治体名	導入したいか？	関心のある調査						
		川の生き物	水質	流量	生活排水	下水処理水の有効利用	雨水の有効利用	湧水や震災のための調査
中国・四国								
広島県広島市	どちらかといえば思う	○	○	○	○	○	○	○
島根県松江市	どちらかといえば思う				○	○ (下水処理水、下水熱の有効利用)		
高知県香南市	どちらかといえば思う				○	○		○
愛媛県新居浜市	どちらかといえば思う		○		○			○
愛媛県今治市	どちらかといえば思う							○
九州・沖縄								
佐賀県佐賀市	思う どちらかといえば思う	○ (川、海の生き物)			○	(下水熱の有効利用)		
福岡県北九州市	思う	○				○		○
沖縄県	どちらかといえば思う		○		○			○

表2 調査研究の取り組みに意欲的な団体（H27・28年度アンケート結果より）

団体名	導入したいか？	関心のある調査						
		川の生き物	水質	流量	生活排水	下水処理水の有効利用	雨水の有効利用	湧水や震災のための調査
北海道・東北								
十勝川中流部市民協働会議	どちらかといえば思う	○	○	○				
関東								
NPO法人 雨水市民の会	思う						○	○
新河岸川水系水環境連絡会	どちらかといえば思う	○	○	○		○	○	○
NPO法人荒川流域ネットワーク	思う	○	○	○	○			
水みち研究会	思う						○	
青梅・多摩川水辺のフォーラム 美しい多摩川フォーラム	どちらかといえば思う		○		○	○	○	
中部								
諏訪湖クラブ・信州ネットSUWA	思う	○	○			○(水・熱)		
Yamanashiみずネット ※	思う	○	○				○	○
関西								
NPO法人 環境市民ネットワーク天理	どちらかといえば思う	○	○					
中国・四国								
旭川流域ネットワーク	どちらかといえば思う		○	○	○	○		
株)西日本科学技術研究所	思う	○	○					
國六株式会社 新庄事業所 ※	思う	○	○					
岡山野生生物調査会	思う	○						

※は「活動費用の支援が受けられること」を条件としていない団体を示す

「研究テーマの設定等にアドバイスを与えてもらえる」ことを条件としていない団体

<ガイドブックを活用した水平展開ポイント>

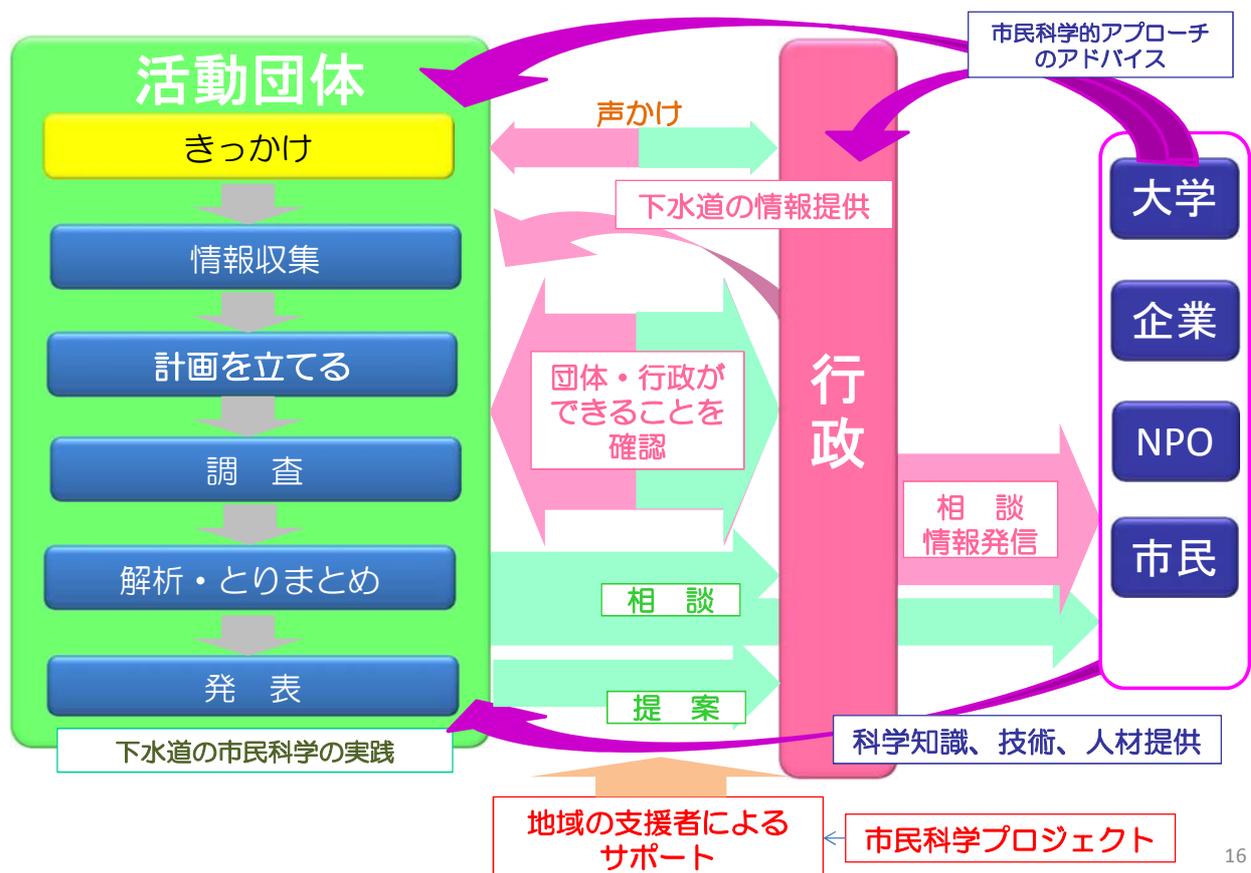
③取り組みを普及・定着させるための**自治体をサポート**する体制づくり。

(実施案)

- ⇒ 取り組みをサポートできる“支援者”と連携した体制づくり
(支援者(下水道行政OB等)向けの勉強会など)
- ⇒ 体制を構築するための、新たなモデル試行

15

「下水道の市民科学」の取り組みイメージ



16

<ガイドブックを活用した水平展開ポイント>

④取り組みのPR（成功を実感してもらい、新たなニーズを呼び起こす）

（実施案）

- ⇒ プロジェクトの情報共有サイトの立ち上げ
- ⇒ 取り組みを行う自治体、団体間のネットワークづくりの場の提供

⑤資金面、制度面でのサポート。

（実施案）

- ⇒ （団体）助成金制度の構築
- ⇒ （行政）業務として取り組むことができる制度の構築

17

導入意向の高い自治体、団体の重ね合わせ

導入意向が高い自治体 (H28アンケート結果より)	導入意向の高い団体 (H27・28アンケート結果より)	備考
大阪府	アクアフレンズ	
	ねや川水辺クラブ	
埼玉県	NPO法人荒川流域ネットワーク	調査研究の取り組みに意欲的な団体
	熊谷市ムサシミヨをまもる会	
	早稲田大学本庄高等学院河川研究班	
	新河岸川水系水環境連絡会	調査研究の取り組みに意欲的な団体
東京都	NPO雨水市民の会	調査研究の取り組みに意欲的な団体
	水みち研究会	調査研究の取り組みに意欲的な団体
	青梅・多摩川水辺のフォーラム 美しい多摩川フォーラム	調査研究の取り組みに意欲的な団体
	株)創景	
神奈川県横浜市	横浜市立舞岡中学校	
佐賀県佐賀市	自然と暮らしを考える研究会	
	佐賀水ネット	

調査研究の取り組みに意欲的な団体とは、団体向けアンケートの結果「研究テーマの設定等にアドバイスを与えてもらえる」ことを条件としていない団体をあらわす

18